

【取組概要】

| | |
|-----------|--|
| 団体名 | ライフ・キャリア図鑑「COMPASS」 |
| 活動の内容（概要） | 様々な分野で活躍する大人（大学生含む）が自身の経験・現在・未来について語ったプロフィールページを WEB 上に作成。その中で中学生が興味を持った分野の活躍する大人と、オープンチャットで交流し、アドバイスを得る。中学生が自分のロールモデルとなるような大人を見つけ、将来への展望を持って様々な学びや体験ができるようにする。本サイトは学校で外部講師を招聘する際の人材バンクとしても活用が可能である。 |

受賞理由

- 多くの組織の協働で、従来の「職業」、「職場」だけに着目したキャリア教育ではなく、個人の「生き方」、「価値観」にも着目した新しいキャリア教育支援ツールを開発している。中学生が真に興味を持っている分野で活躍する大人や大学生などに繋がり、具体的な進路選択を考えていく上で有益なアドバイスを得られるような、個に即した取組を提供している点は高く評価できる。
- キャリアを人生と捉え、個人の生き方に焦点を当て、何のために学ぶのかを意識させた双方向性のキャリア教育支援ツールの開発は、斬新である。いつでも大人にキャリアの質問ができたり、自分のロールモデルを持つことができるなど今後、さらにキャリア教育の枠が広がると感じた。COMPASS のプロフィールを読ませていただいても本音が語られているからか、非常に勉強になると感じた。ただ今後協力者を増やしていかれると思うが、なかなか人選が難しいのではないかと、そして情報量が多くなるにつれ、個人情報などサイトの維持管理にもかなり工数がかかるのではないかと少し心配になった。
- テスト運用から PDCA を行い、着実に広げている。また生徒の特性を考慮したサイト運営など広がりが楽しいプログラムである。
- デジタル時代にふさわしいプラットフォーム型キャリア教育で、多様なロールモデル・生き方に接することができる、地域のキャリア教育の中核たる可能性高いプログラムである。地域や属性などにとらわれず、オープンに参加しやすく、PDCA もしっかりと意識されている。今後はリアルでの取り組みとの連動なども期待できる、将来に向けて楽しいプログラム。

連携・協働している機関や団体、組織

【教育関係者（学校、教育委員会等）】

松原市教育委員会、松原市内全小中学校、松原市校長会及び教頭会、静岡大学塩田研究室、大阪教育大学、阪南大学、大阪大谷大学、四天王寺大学、大阪公立大学、大阪文化服装学院、松原市地域教育協議会

【行政（首長部局等）や地域・社会（NPO法人やPTA団体等）、産業界（経済団体や企業等）】

松原市役所、松原消防署、松原市キャリア教育懇談会（松原商工会議所、松原ロータリークラブ、松原ライオンズクラブ、松原商店会連合会、松原中ロータリークラブ、松原青年会議所）、NPO 法人やんちゃま with、日本フリーランスウーマン協会、松原市社会福祉協議会

活動開始の経緯

令和2年度以降、コロナ禍により人が出会う活動が制限され、市内小中学校では職場見学や職場体験の機会がなくなるとともに、GIGA スクール構想により子どもたちの学び方も大きく変化した。さ

らに、「働き方改革」「人生 100 年時代」「ウェルビーイング」「価値観の多様化」などにも見られるように、子どもたちを取り巻く社会は急激に変化している。これらの変化に学校教育も適切に対応していくため、「自分は将来どのように生きていくのか」「そのためにどんな力をつけ、どう学びを積み重ねていくのか」ということを子どもたちが真剣に考える機会を創出することが急務であると考えた。そこで、松原市教育委員会は、民間企業の力を活かしたキャリア教育で実績のある静岡大学塩田研究室の協力を得て、従来の「職業」、「職場」だけに着目したキャリア教育ではなく、個人の「生き方」、「価値観」にも焦点をあて、子どもたちに「何のために学ぶのか」を意識させることで、「学びへのモチベーション」を高めることにもつながるような新しいキャリア教育支援ツールを開発することとした。

「協力性」についての具体的な取組, 工夫している点など

本市においては、長年にわたって学力向上が大きな課題となっており、学校における授業改善や教師の指導力向上に向けての取組を行ってきた。その一方で、子どもたちの自己肯定感の低さ、将来の夢や目標を持てている者の割合の低さ、学校外における時間の使い方（読書時間の少なさ、スマホ・ゲーム利用時間の多さ、学校外での学習時間の少なさ）の課題などもあることから、教育関係機関と家庭、地域、産業界の協働によるこれらの状況の改善が強く求められていた。

また、コロナ禍で職場見学・職場体験が実施できなくなり、学校と地元事業所との関係が希薄化してしまっただけから、産業界・地域関係者からその関係改善を求める声が大きくなっていった。

本サイトについては、その構想段階から各団体等に様々なデータを提供しながら趣旨・ねらいを説明し、対面及びオンラインで意見交換を重ねた上で、本サイトに賛同し、かつ、積極的に協力してくれそうな人材を紹介いただいた。協力者には、相手が多感な年代の中学生であることを踏まえ、分かりやすい表現で、心情に寄り添ったコメントをしていただくように要請した。

更に、教育長による近隣大学への出前講義等の機会を活用し、子どもたちが興味を持てるようなサイトの構成内容について、教員志望の大学生からアイデアを募るとともに、大学生自身にも教員をめざすという自らのキャリアについて改めて見つめ直す契機となるような工夫を行った。

「継続性」についての具体的な取組, 工夫している点など

本サイトはいきなり全ての学校で展開していくのではなく、複数校×複数名という小規模な単位から試験運用を開始し、その規模を大きくしながら複数回実施するとともに、その都度、分析・評価とともに改善点を洗い出すための事前・事後アンケート調査を実施することとしている。また、当該アンケート結果については公表し、外部からの客観的な評価も反映していけるようにしている。このようにPDCAサイクルを意識した取組にするとともに、教育委員会事務局内にPTを設置し、市役所内の関連する部局も含めたミーティングを定期的開催することで、効果的・効率的な運用に努めている。

本サイトの運用に際しては、安心・安全への配慮が最も重要であることから、中学生は匿名での参加とするとともに、中学生と協力者との間で保護者や教員の目が届かない私的なやりとりがなされないよう、メッセージのやり取りはサイト上に限定したオープンチャット形式で行うこととした。その際、メッセージに誹謗中傷や個人情報の漏洩につながるようなものが含まれないよう、松原市教育委員会と静岡大学塩田研究室のダブルチェックを経て問題なしと認められたもののみを反映するようにしている。

なお、協力者に対しては、あくまでも自身の日常生活や仕事を最優先とし、生徒にメッセージを返すのは休みの日や空き時間など、無理のない範囲で行っていただくようお願いすることで負担感の軽減を図っている。

「実践性」についての具体的な取組、工夫している点など

本市小中学校では、従来から職場見学や職場体験などに協力いただける事業所の確保に困難さを抱えていた。特に、中学生の職場体験については、生徒は第一希望の事業所に必ずしも行くことができないなど、その体験が実際の進路選択に十分活かされていないのではないかという指摘に加え、受け入れ事業所側からは、職場体験に意欲的に取り組もうとしない生徒への対応に苦慮しているとの声が寄せられるなど、中学生の希望と受入れ先のミスマッチも大きな課題となっていた。

中学生の職場体験が活発に行われるようになって約20年が経過したが、それに伴い、産業・就業構造の大きな変化、ICT化、価値観の多様化なども進展した。子どもたちを取り巻く状況の変化のみならず、前述の課題にも適切に対応していくためには、「実施時期、業種、時間帯に制約のある事業所での体験活動を前提とした取組」から、「中学生が真に興味を持っている分野で活躍する大人や大学生などに繋がり、具体的な進路選択を考えていく上で有益なアドバイスを得られるような、個に即した取組」へとシフトしていく必要があると考えた。本サイトにおけるメッセージのやり取りをオープンチャット形式にすることで、中学生は自分が関係したものだけではなく、他の生徒と協力者のやりとりも全て見られるようにし、多様な物の見方・考え方に触れ、新しい学びや気付きにつながるチャンスが生まれるようにした。

「発展性」についての具体的な取組、工夫している点など

松原市においても、PTA活動や地域活動の担い手不足・固定化が課題となっているが、本サイトの開発により、これまでそれらの活動に参加したくても、仕事を休めない、時間帯が合わない、足を運ぶことが難しい等の理由から参加できていなかった層の掘り起こしにつながる事が期待できる。

また、危険な作業を伴う、衛生面での配慮が必要、顧客情報に触れさせられない等の理由から、職場見学・職場体験に協力できなかった事業所の方も、本サイトを通じて協力が可能になるほか、起業家や事業所を持たずに個人で活動している人、松原市内ではない遠隔地（海外も含む）で活動している人たちも対象となりうる点など、ウェブサイトの利点を最大限に活かした取組が可能となる。

更に、子どもたちが進路選択の仕方や勉強方法などについてアドバイスが欲しくても、保護者にその余裕やスキルがないケースや、思春期特有の発達状況から保護者や教師の干渉を嫌い、距離を取ろうとするようなケースなどが散見されるが、適切な時期に適切なアドバイスを得ることが難しい子どもたちにとっては、本サイトを活用することで、様々な協力者からアドバイスや情報を得られるようになる。ひいては、本サイトを通じて、子どもたちの教育に何らかの形で協力・貢献しようとする大人が増加することで、社会全体で子どもたちを育てていこうという機運の醸成にも好影響を与えていくことが期待できる。

学校現場の評価・感想・コメント

・コロナ禍で職場見学や職場体験が出来なくなり、各学校ではキャリア教育を進めていくための具体的な取組をどうすればいいのか苦慮していたが、進路選択の先にある自分自身の生き方を考えさせるための新たなツールとして活用できる。

・協力者として大学生や仕事に就いて間もない人も登録されているので、中学生は「数年先を走っている先輩」として捉えており、親近感を持って質問等ができていたようだ。

- ・本校の不登校傾向のある生徒にも本サイトを使わせてみたところ、協力者に積極的にメッセージを送るということはできなかったが、家庭にいるときも気になる協力者のページを何度も見たと言ってくれた。
- ・小学生にはまだ質問出来るほどの文章力・表現力は十分育っていないが、様々な仕事や生き方があるということは本サイトを閲覧することで参考になっていると感じる。
- ・とすればキャリア教育の取組と学力向上の取組は別物と考えがちであるが、何のために学ぶのか、学んだことが将来どう生きるのかということに気付ける教材だと思う。
- ・これまでは、各教科等で学ぶ現代的な課題（SDGs、SNS利用、ダイバーシティなど）に関連付けて外部講師を学校にお招きする際の人選や相談先に困っていたが、本サイトに掲載されている協力者をお願いしたところ、快く受けていただけた。
- ・もし、自分が中学生の頃にこういうサイトがあったなら、学校で受ける授業にもっと意義を見出せたような気がする。
- ・「タグ」機能が、子どもたちにとってはなじみやすく、使いやすかったようだ。

関係諸機関（行政・産業・地域団体等）からの評価・感想・コメントなど

- ・現在、PTA役員と地域教育協議会の役員を兼任していますが、子どもたちへの支援のあり方が「時間に余裕のある人」前提であり、なかなか世代交代が進まず、固定メンバー化してしまっています。このサイトは、新たなメンバー候補の拡大にも一役買ってもらえそうです。
- ・このサイトを通じて、例えば「夏休み期間に職場体験の受入れをしますよ」と告知すれば、この業界（ものづくり）に真に興味を持っている中学生だけ来てもらえるだろうから画期的だと思います。
- ・私は松原市出身ですが、今は市外で働いています。離れた場所からでも、松原の子どもたちのために役に立てるチャンスだと思うので、自分の経験や知っていることを伝えられたらと思っています。
- ・私たちの事業所では、これまで職場体験を受け入れたことはありませんでしたが、私たちの活動に興味を持っていただけるチャンスが出来たと喜んでます。
- ・今の社会は働き方も多様化しており、平日の定刻に出勤・帰宅するというスタイルだけではありませんでした。子どもたちがこれからの社会の様々な変化に対応していけるように、教育のツールや手法も工夫していく必要があるのだなと実感しました。
- ・このようなサイトは今までありませんでしたし、大人が見ても勉強になったり考えさせられたりすることがたくさん語られています。子どもたちが多様な価値観やものの見方に触れて、自分の将来について考えるきっかけが生まれる取組みだと思います。
- ・このサイトの協力者となり、プロフィールページを作成する過程で、これまで自分が積み上げてきたキャリアを見つめ直すこととなった。そのうえで、これからどういう力をつけ、どう視野を広げていくべきか考える機会をもらった。



COMPASSのトップページ



「仕事」「趣味」「感情」から「タグ」を選択することで、協力者を絞り込む